

表1 G7首脳声明の要旨

	内容
総論	<p>○新型コロナウイルスに打ち勝ち、より良い回復のために協働することを決意。</p> <p>○民主的で開かれた経済・社会の強みと価値を生かし、2021年を多国間主義のための転換点とし、人々と地球の健康と繁栄を促進する回復を構築するため、G7その他の国々と協働。</p>
新型コロナウイルス対策	<p>○新型コロナウイルスに対する保健分野での対応の協力を強化。世界保健機関（WHO）と協働し、これを強化し、その調整機能を支援しながら、G7として以下を実現。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のワクチン開発と普及の加速 ・自発的なライセンス供与を含めた、製造能力拡充のための産業界との協働 ・新たな変異株の塩基配列などの情報共有の向上 ・透明で責任ある慣行とワクチンへの信頼の推進 <p>○国際公共財としての大規模な予防接種の役割に鑑み、ACTアクセラレータ（ACT-A）の全段階と、COVAXファシリティ、ワクチン・治療・診断への安価且つ公平なアクセスに対するG7の支援を再確認。</p> <p>○ACT-AとCOVAXに対する今回の40億ドル超の追加拠出により、G7全体で75億ドルを支援。</p> <p>○特にローマで開催されるG20グローバル保健サミットを通じてWHO、G20らと協働し、「ワンヘルス」アプローチとユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進や、世界的な保健分野の条約の潜在的価値を探求することにより、ファイナンスや早期対応メカニズムなどを含め、パンデミックへの備えとして国際的な保健、保健安全保障の体系を強化。</p> <p>○2020年通年で、G7全体で6兆ドルを超える、過去に例のない国内経済支援を実施。雇用維持と、強力且つ持続可能で均衡ある包摂的な復興を支援するため、自国経済の支援を継続。</p> <p>○早期復興の支援を含め、最も脆弱な国々への支援、SDGsへのコミットメント、アフリカとのパートナーシップを再確認。G20を通じ、国際金融機関と協働し、債務返済猶予イニシアティブ（DSSI）と共通枠組み（コモン・フレームワーク）の完全且つ透明性ある実行などあらゆる手法を追求することで、対象国の対策に対する支援を強化。</p>
経済復興・成長、国際ルール形成	<p>○第26回気候変動枠組条約締約国会議（COP26）と第15回生物多様性条約締約国会議（COP15）に向けて、気候変動と生物多様性の損失反転に関する世界的な志を、我々の計画の中核に設定。</p> <p>○パリ協定に従い緩和、適応、ファイナンスを推進し、2050年までのネットゼロに至る過程で、排出削減と良い雇用の創出をもたらすグリーンな変革とクリーン・エネルギーへの移行を実現。</p> <p>○性別や民族に関わらず、あらゆる地域や人が取り残されないよう、我々の経済の底上げを約束。G7として以下を実現。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開かれた経済と社会の擁護 ・世界経済の強じん性促進 ・信頼性ある自由なデータ流通に基づくデジタル経済の活用 ・改革されたWTOを中核とした、我々の価値を反映し、均衡ある成長を実現する、現代化されより自由で公正なルールに基づく多角的貿易体制について協力 ・国際課税について、2021年半ばまでに、OECDの枠組の中でコンセンサスに基づく解決策に至るよう努力 <p>○あらゆる人々にとって公正で互恵的な世界経済システムを支持するため、他の国々、特に中国のような経済大国を含むG20に関与。</p> <p>○G7首脳として、非市場志向型の政策や慣行に対処する共同の取り組み方を互いに協議し、すべての国に影響を与える重要な世界的課題に取り組むために他の国々と協力。</p>
6月サミット、オリンピック・パラリンピック	<p>○6月に英国で開催されるG7首脳会議で、これら優先事項について具体的行動に合意することを決意し、新型コロナウイルスを克服する世界の結束の象徴として2021年夏に安全・安心な形で2020年東京オリンピック・パラリンピックを開催するという日本の決意を支持。</p>

（出所）日英政府資料を基にジェトロ作成

表2 G7首脳テレビ会議に先立ち英国政府が発表した新型コロナウイルス関連の提案

英国政府の提案（2021年2月19日）	
1	ワクチン開発の期間を現在の3分の1の100日に短縮。このために首相はパトリック・バランス首席科学顧問に対し、産業界や科学専門家に加え、WHOや感染症流行対策イノベーション連合（CEPI）など国際パートナーとも協働し、一般的な病原体のワクチン、治療、検査の開発プロセスを加速することについて、G7に助言するよう要請。100日間での開発という野心的目標は、年初にCEPIが提案したもの。国際連携を通じて研究開発を加速させ、治験を近代化し、より革新的なワクチン生産とサプライチェーンを創出することで、将来の保健危機から人命を守り、次のパンデミックを防ぐことが可能になる。
2	首相はまた、開発途上国を支援するため、英国政府による5億4,800万ポンド（約811億ポンド、1ポンド＝約148円）のCOVAXファシリティー支援に加えて、将来のワクチン余剰分の過半数をCOVAXの調達備蓄に提供することを確約。首相はG7首脳に対し、ワクチンへの公平なアクセスを支援するため、COVAXへの拠出拡大を促す。
3	2020年の国連総会で表明した首相の「将来のパンデミックを阻止するための5つのポイント」の目的を達成することは、今年英国がG7議長国を務める上で重要な焦点。首相はまた、WHOを通じたパンデミックへの備えに関する条約を支援するよう、G7首脳に呼びかける。

（出所）英国政府資料を基にジェトロ作成

表3 ジョンソン首相が第75回国連総会演説（2020年9月26日）で提唱した世界的保健危機防止のための「5つのポイント」

英国政府は2021年、下記「5つのポイント」普及のため、G7議長国としての立場を活用する考え	
1	動物由来感染症の研究拠点の世界的ネットワーク構築による新たな感染症の発生防止
2	治療とワクチンに係る製造能力の開発
3	サンプル収集・分析と研究結果周知の大幅な能力拡充による世界的なパンデミック早期警報システムの設計
4	緊急事態に対応するための世界的なプロトコルの形成
5	重要医療物資に対する輸出規制の可能な限りの撤廃と関税免除

（出所）英国政府資料を基にジェトロ作成